

現代的課題対応研修「地域学校協働活動推進のためのコーディネーター研修」事業報告

- 1 事業名 令和4年度「地域学校協働活動推進のためのコーディネーター研修」
～地域と学校の連携・協働活動のさらなる展開に向けて～
- 2 日時 令和4年6月27日(月) 10:30～16:10
- 3 趣旨 地域全体で子供たちの成長を支え、地域づくり・人づくりを目的とした地域学校協働活動を推進するため、関係者の理解促進と地域学校協働活動推進員の育成を図るとともに、今後の取組の充実につなげる機会とする。
- 4 対象 地域学校協働活動推進員、社会教育関係者、学校関係者 等

5 研修内容

研修1〈事例発表〉「持続可能な地域学校協働活動事業に向けて」
～地域と学校をつなぐ公立公民館の取組～

八女市黒木公民館 館長 安徳 和幸 氏
黒木地区地域学校協働活動推進員 吉開 恵司 氏

研修2〈講義〉「地域・学校が効果的に協働していく地域学校協働活動の在り方について」

研修3〈演習〉「地域の教育資源を生かした地域学校協働活動の実現に向けて」

国立教育政策研究所 社会教育実践研究センター
全国体験活動ボランティア活動総合推進センター
コーディネーター 橋本 洋光 氏

6 当日の様子



【安徳氏、吉開氏の発表の様子】



【橋本氏による講義の様子】



【演習の様子】

本研修は、地域全体で子供たちの成長を支え、地域づくり・人づくりを目的とした地域学校協働活動を推進するため、関係者の理解促進と地域学校協働活動推進員の育成を図るとともに、今後の取組の充実につなげる機会にすることを目的としました。

八女市黒木公民館の事例発表に加え、全国の事例をもとに、これからの地域学校協働活動の在り方を考える講義や地域の教育資源を生かして企画・立案する演習を行いました。参加者からは「素晴らしい実践に触れ、やるべきことが明確になった。」「いろいろな実践から地域貢献という考え方が大切と感じた。」「活動推進の方法やアプローチの仕方を学べた。」等の声が多く聞かれました。

参加者はそれぞれの地域や学校での協働活動推進に向けて、「うちの地域だったら…」をキーワードに学びを深めました。特に演習では活発に意見を交換し、互いの活動やアイデアを認め合いながら、教育資源を生かした企画案を立てました。「地域の良さを交流できてよかった。自分たちの地域の活動にも生かしたい。」という感想が聞かれ、今後の活動への広がり期待できる研修となりました。